

楠まちづくり新聞

つながる会
発行
会長
玉崎和実
事務局
白井春夫
広報部
高石正憲

楠小学校区つながる会

安全・安心で助け合える地域の絆づくり

12月8日（日）の8時30分に中央構造線断層帯度6強を記録した、と想定し「楠小学校区つながる会」が主催し諸団体と協力し合って防災訓練を実施しました。

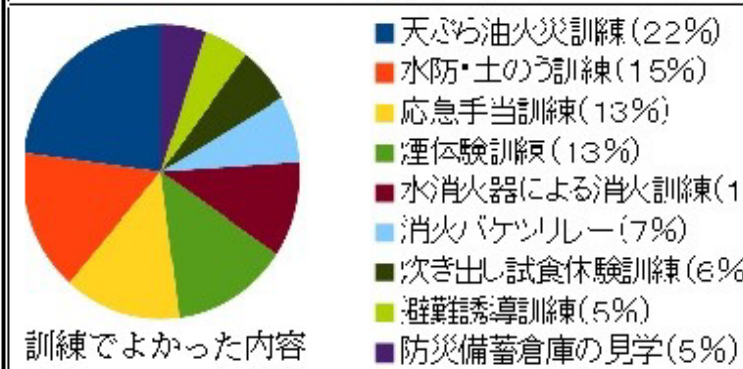
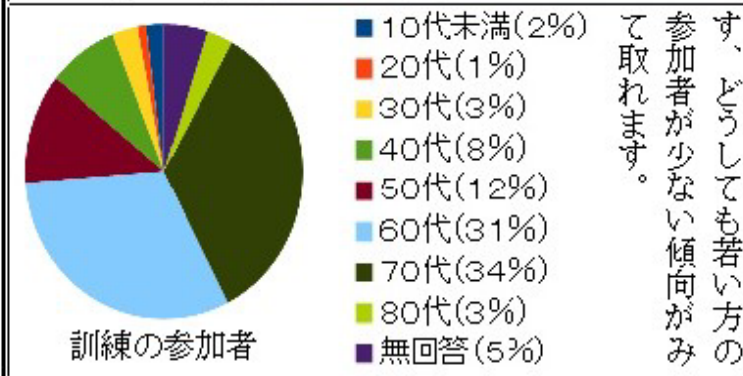
第五回防災訓練 結果報告

参加団体は27団体（組織）255名（内子ども13名）の参加者が有りました。

訓練の内容は避難所開設訓練からスタートして、防災実技訓練は「子ども訓練」と「大人訓練」に大きく二つに分けました。最後にバケツリレーを全員で行い、非常食を試食して12時過ぎに終了しました。



出来るだけ参加者が顔見知りになればと思い、近隣の自治会（町会）同士をグループピングして三つに分けました。

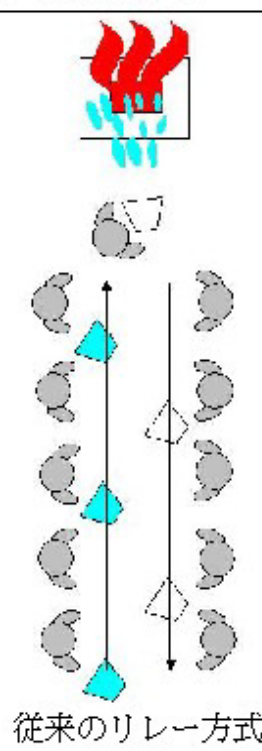


アンケートの実施
回収率46%

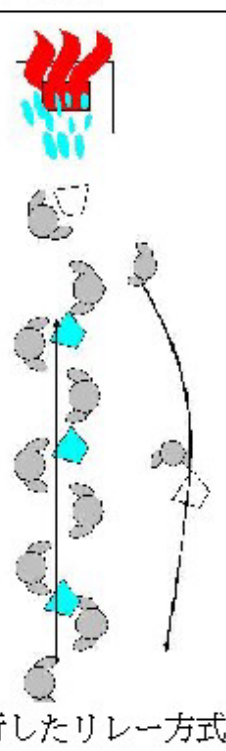
参加者は男性47%、女性53%と女性の方の積極的な参加がみてとれます。
年代別の参加者の割合は60歳代の方と70歳代の方で6割を占めています。40歳代と50歳代そして80歳代の方で2割強です、どうしても若い方の参加者が少ない傾向がみられます。

地震等による大規模災害の発生時には消防隊も自衛隊も直ぐには来られません、あるいは当分来ません。そこにいる自分たちで初期消火の対応が必要になります。

訓練で新たに経験しました バケツリレー 土のう作成



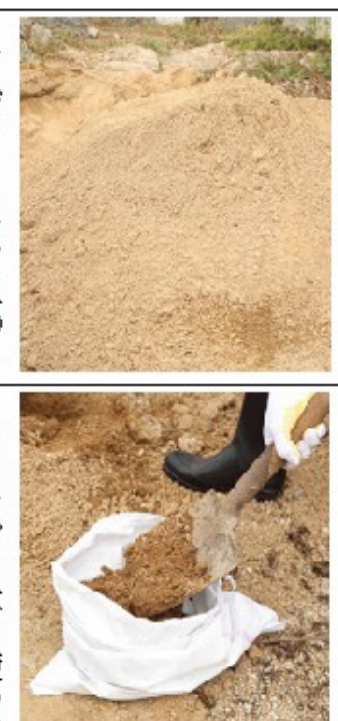
基本的に1列に並び、水の入ったバケツをリレー方式で順次前方に手渡しします。水をかけるのは最前列の一人です。



2列で向かい合って並びます、立ち位置を交互にずらして並びます。バケツを前方に送る際に、向かい側の人が手を添えて水が零れない様にを元に戻します。

その他の注意点

リレー方式の変更が徹底される前にバケツリレーが始まってしまい、軌道修正に手間取りました。



川砂を2トン、土のう袋を200枚購入しました。スコップ5本を使って交互に川砂を袋に詰めました。



土のう作成の重要ポイントは袋の口の締め方です。ヒモを引くと袋の口は窄まります、親指を袋に添えて、親指の上から2回または3回ヒモを輪のように巻き付けます。



最後に親指を抜き、抜いた隙間にヒモを通し、そのヒモで袋の口を縛ると完成です。訓練の終了後、詰めた砂全部を子どもたちが使えるように小学校の砂場に戻しました。